

## ムカゴ

ひょっとしてアケビの実がなっていないかなど、この春に花を撮影したあたりを探していたら、アケビの蔓は見つからなくて、代わりに山芋（標準和名はヤマノイモ）の蔓がからまっていました。大きなムカゴが数珠つなぎです。自然薯を掘りだす気力はありませんが、ムカゴなら手軽に集められます。のちほど塩ゆでにして賞味いたしましょう。



ムカゴといえば、8月にご紹介したオニユリもムカゴをつけます。どちらも葉の付け根にできるので、構造も似たようなものかと思っていたのですが、専門書で調べてみたら少し違っていました。山芋のほうは茎が肥大化したものであるのに対し、オニユリのほうは鱗片葉が茎をとりまいたもの、つまりミニ球根の構造になっているそうです。

ほかにもムカゴをつける植物が、身近にあります。ノビルです。こちらは花の基部にできます。種子の代わりに働くだけでなく、できる位置まで代役そのものです。でも、花が開く前からぷっくりできあがっていて、ちょっと変。フライングの種子代行ってところでしょうか。